

安全データシート

整理番号【270-10】

制定日 2006/03/27

改訂日 2014/11/25

1. 製品および会社情報

製品

製品名 うがい薬コロロ

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性 引火性液体 区分3

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2

生殖細胞変異原性 区分1

生殖毒性 区分1

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分3

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)

区分2(神経)

記載のないものは分類対象外または区分外

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 炎、感嘆符、健康有害性

注意喚起語: 警告

危険有害性情報:

引火性液体及び蒸気、強い眼刺激、遺伝性疾患のおそれ、
生殖能または胎児への悪影響のおそれ、呼吸器への刺激のおそれ、
眠気またはめまいのおそれ、長期または反復ばく露による肝臓の障害、
長期または反復ばく露による神経の障害のおそれ

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分:

ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム、1-メントール、

ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、エタノール、グリセリン、クエン酸、香料、赤色102号、褐色201号、その他1成分

濃度:

有効成分 ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム0.3w/v%

4.応急処置

吸入した場合:

直ちに患者を空気の新鮮な場所に移し、安静にする。

ひどい場合は直ちに医師の手当を受ける。

皮膚についた場合:

水で洗い流す。

眼に入った場合:

すぐに水またはぬるま湯で洗う。

症状が重い場合には眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合:

水を飲ませる。症状によって医師の手当てを受ける。

5.火災時の措置

消火剤:

水、粉末、炭酸ガス、泡(耐アルコール泡)

火災時の特定危険有害性:

少量の水での消火は、火災を拡大させる恐れがある。

消火方法:

初期火災には、大量の水を噴霧、又は、泡消火剤等による空気遮断にて消火を行う。

消火を行う者の保護: 防火耐熱性保護具、マスク等

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置:

保護眼鏡、ゴム手袋等を着用し、接触及び吸入を避けること。

環境に対する注意事項:

少量の場合は、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。

大量の場合は、漏出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、

回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策:

浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

7.取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い:

他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる)
使用期限が過ぎた製品は使用しないこと。

保管

適切な保管条件:

直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管すること。
小児の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策: 取扱については、火気のない換気のよい場所で行う。

管理濃度: 管理濃度なし

許容濃度: 設定されていない

保護具:

必要に応じて防毒マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム前掛け、安全靴を着用する。

9. 物理的および化学的性質

外観: 黄褐色～褐色の透明液体

臭い: 芳香臭

pH: 4.5～8.0

引火点: 33.5℃(タグ密閉式): 参考値

比重: 0.982(20℃): 参考値

殺菌剤濃度: 0.270～0.330%

10. 安定性および反応性

安定性: 常温においては安定である

危険有害性反応可能性: 情報なし

11. 有害情報

急性毒性: 情報なし

皮膚腐食性/刺激性: 情報なし

眼に対する重篤な損傷/刺激性: 情報なし

呼吸器感作性/皮膚感作性: 情報なし

変異原性: 情報なし

発がん性: 情報なし

生殖毒性: 情報なし

特定標的臓器/全身毒性－単回暴露: 情報なし

特定標的臓器/全身毒性－反復暴露: 情報なし

吸引性呼吸器有害性: 情報なし

催奇形性: 情報なし

代謝:情報なし

労働安全衛生法

通知対象物質(No. 61)エタノール 18w/w%含有

12.環境影響情報

生態毒性:情報なし

残留性・分解性:情報なし

生体蓄積性:情報なし

土壤中の移動性:情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13.廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物:廃棄物処理業者に処理を依頼する。

使用済容器:管轄自治体のルールに従い、処理する

14.輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類:情報なし

国連番号:情報なし

運搬する場合には、飛散、漏れ、流れ出、又はしみ出ることを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15.適応法令

労働安全衛生法(安衛法):

薬事法の適用を受けるため、通知対象物質に該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法):該当しない

航空法:施行規則第194条 3 引火性液体

毒物及び劇物取締法:該当しない

消防法:該当しない

医薬品医療機器等法:指定医薬部外品に該当

食品衛生法:該当しない

16.その他の情報

・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

- 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - 注意事項は通常の手配を対象としたものですが、特別な手配をする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - すべての化学品には未知の有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-